

## 説明・同意書&lt;トレッドミル運動負荷心電図検査&gt;

患者番号		記載日	
患者氏名		診療科	
生年月日	歳 性別	記載者名	

トレッドミル運動負荷心電図検査の目的と必要性

安静にしているときではなく、日常労作あるいは運動時に心臓の機能が維持されているか、狭心症発作を起こさないか、などを判断するために行います。この検査を行うことで、隠れている狭心症発作を見つけ出したり、あるいは、どのくらいまで心臓に余分な負担をかけずに運動できるか、などを判断することができます。カテーテルや薬物による治療効果の判断にもなります。

トレッドミル運動負荷心電図検査の検査方法

ベルトコンベアー上の、通路の上を機械のペースに合わせて、歩いていただきます。徐々に上り坂になり速度も速くなっていきます。検査中は、常に心電図を記録し血圧も間欠的に測定し、ご自身がどのくらいつらくなったかもお聞きします。ある一定の心拍数まで達した時、ご自身の足が辛くなった時、狭心症発作などの症状が出現した時、あるいは医師の判断で心電図異常が出現した時などに終了にします。

トレッドミル運動負荷心電図検査の危険性・合併症・副作用について

病態の把握のために、心臓の負荷を強制的にかけるため、狭心痛が生じ遷延したり、さらに心筋梗塞や不整脈を生じる可能性があり、その際には緊急入院を含む緊急処置が必要になることがあります。また、ご自身の足が追いつかなくなった時には緊急停止できますが、それでも転倒、それによる骨折などの整形外科的合併症が生じる場合もあります。

## 〈トレッドミル運動負荷心電図検査の同意書〉

私は患者様に上記事項について説明しました。 年 月 日

医療機関名

担当医氏名

私は、トレッドミル運動負荷心電図検査の目的や方法、危険性について説明を受けて理解した上で、トレッドミル運動負荷心電図検査を受けることに同意します。

年 月 日

患者氏名

代理人氏名

(続柄 )